

イスラム教徒に福音を

2010年8月29日 アシェル・イントレーター

現代のイスラム教世界において流行っている教えは、ヘブライ聖書(旧約聖書)にムハンマド(注)のことが述べられているという教えです。旧約聖書にムハンマドが述べられていることは、彼が最後の最も偉大なる預言者であり、ユダヤ教やキリスト教を越えるものであるということに権威を与えるのです。私はこの問題について短くアル・ハヤット TV においてインタビューを受けました。

注: ムハンマド: イスラム教創始者で、名は「ムハメッド」「マホメッド」「メフメド」「モハメッド」など、用いる言語によって言い方が多少異なりますが、ここではアラビア語の言い方である「ムハンマド」を用いることとします。

雅歌 5:16 に、シラム人の女性がエルサレムの娘たちに向かって、彼女の愛する人は「愛おしい」と述べています。この単語のヘブライ語は「マクマディム (Makhmadhim)」です。語根の「カマッド (khamad)」は、「ムカマッド (Mukhamad)」という名と同じ語根です。この語根の意味は「愛おしい」です。これはまた十戒にある「あなたは欲しがってはならない」という言葉の語根です。現代ヘブライ語で「カムッド (Khamud)」は友人や恋人に対する一般的なあだ名で「かわいい人、愛する人 (sweet-heart)」という意味です。

イスラム教徒は雅歌にあるこの言葉は名詞の複数形の尊敬語で彼らの預言者をさすとしています。確かにこの言葉は名詞の複数形ですが、明らかに誰をも指していません。それは詩の中で愛する人の特徴を説明しているのです。この言葉は、その直前に来る名詞と対比しており、愛する人の口は「甘い」に対比しています。ヘブライ語の原語には、両方とも名詞の複数形を取っており、「甘い物」と「望ましい事」という意味です。

イスラム教徒、ユダヤ教徒そしてキリスト教徒は共に旧約聖書から引用することは望ましいと私は述べました。確かに聖書は3つの宗教の原典であり権威であるべきだからです。雅歌が書かれたのはイエシュア(イエス)の時代より約 1,000 前で、ムハンマドの時代よりも 1,600 年前です。

30 年もの間私はアラブ人キリスト教徒との和解集会に携わってきました。単に和解するだけでなく、一緒に協力し合って福音を分かち合い、御国を推し進めることができることが、私の長年の夢でした。

約 10 年前、私はヨルダンでの和解集会で教えることになっていました。運営担当に私はヘブライ語で教えたいと言いました。彼らは通訳者を手配するのが大変だと言いました。しかし、イラクからの何名かのアラブ人牧師は、私たちの会話を聞いて走り寄り、福音をヘブライ語で聞きたいと言いました。

その瞬間私の心に啓示が生まれました。アラブ人の間でユダヤ人に対する多くの激しい感情があります。それは聖戦を教化されていることにより、彼らの感情は強い敵対心を抱いています。イスラム教世界において、イスラエルに関する強迫観念があります。そのような強迫観念は神によって良きものとして用いて下さると私は信じています。アラブ人イスラム教徒にとってヘブライ語(通訳か字幕付き)で、イスラエルのユダヤ人から福音を聞くことは心をとらえるものであり、変革を経験するものとなると思われます。

私たちはイスラム教徒に福音を分かち合いたいと願っています。私たちが基本的に取り組んでいることは、自分の命を危険にさらして自分の民に福音を述べ伝えているアラブ人宣教師を支援することです。私たちができることより遥かに多くのことを彼らはすることができます。(私たちはハルン、バサーム、ザック、ジャック、サミール、ヴィクター、アミールその他大勢のパートナーたちについて神に感謝しています。)愛と救いのメッセージが民族間の和解と共にアラブ人からユダヤ人に、そしてユダヤ人からアラブ人に述べ伝えられる時が来たのです。

以下が先週アル・ハヤットにいる友人と共に録画した二つ目のメッセージの要約です。(これが始まりであることを私たちは希望しています。)

「何世紀にも渡り、ユダヤ民族とアラブ民族との間に大いなる敵意がありました。憎しみの連鎖から逃れられるには、たった一つしか方法がなく、それは救い主であるイエシュアから来るものです。主は教えられました。『自分の敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。』(マタイ 5:44)このような愛を教えたのは、歴史上主だけなのです。

主はこの愛を教えただけでなく、その愛に生きました。主は十字架上で命を捧げて私たちの罪を赦し憎しみの連鎖を打ち破って下さいました。誰かが最初の一步を踏まなければなりません。イエシュアの犠牲的な愛の行為はその第一歩なのです。それは憎しみの連鎖を止めて愛の連鎖を始めるための、神のご介入だったのです。十字架上で、イエシュアは祈りました。『父よ、彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。』(ルカ 23:34)」

イスラム教の方々は、イエシュア が神の御子であることを信じるのは禁じられていると言うでしょうが、私たちユダヤ人も主を信じることは禁じられています。しかし、現在何千人ものユダヤ人やイスラム教徒が救い主であるイエシュアを通して救いと和解を見出しています。主を通して私たちは愛による霊的な兄弟姉妹となれるのです。

もしあなたが憎しみの連鎖から逃れたいと思われるなら、その方法があります。私は、あなたがたが何を欲しているかをあなたがたのために決めることはできません。そのような憎しみから逃れた

いとあなたがたを仕向けることもできません。しかし、そのような憎しみから逃れたいと思っている方、あなたがたにより知らせがあります。方法があるのです。イエシュアこそその方法なのです(ヨハネ 14:6)。憎しみは霊的な暗やみの一つの形態です。イエシュアは世の光なのです(ヨハネ 1:5, 9)。

皆平和を欲していると言います。しかし愛のない和平協定は決して成功しないでしょう。憎しみが心から取り除かれぬ限り、平和はあり得ません。十字架上のイエシュアの犠牲的な愛のみが憎しみを取り除くことができるのです。私たちは原因と結果との間を区別しなければなりません。平和は結果です。愛は原因です。イエシュアは神からの真実の愛の源なのです。

私たちはイエシュアの御名によってみなさんに手を差し伸べます。主の元に来て赦し、永遠の命、神の愛、そしてユダヤ人とアラブ人との間の和解を見出して下さい。」

イスラム教徒に福音を述べ伝えている者のためにお祈り下さい。これは、この世代にとって重要な召命なのです。ユダヤ人とアラブ人共に救いと和解の福音が述べ伝えられますよう、どうぞお祈り下さい。